



川 越

2019年7月

農委スポット情報



◇地域農業者紹介◇

高階地区で花を栽培されている安田和晃さんです。安田さんは、ご家族とともに花壇用の花苗等を生産・出荷されています。鶏のトサカのような姿と燃えるような鮮やかな色彩が特徴の「ケイトウ」、くせのない花姿で色が豊富な「ペチュニア」など、季節に合わせたたくさんの種類の花を市場に送り出しています。

なお、裏表紙にはインタビューの内容を掲載しております。

主な内容

- ◇農地パトロールについて……………2
- ◇農家状況調査について……………3

- ◇収入保険について……………4
- ◇農政課からのお知らせ……………5

農地パトロールを実施します！

農業委員会では、遊休農地の解消に向けて、農業委員・農地利用最適化推進委員と共に、市内全域の農地の利用状況調査（農地パトロール）を8月上旬に実施します。農地パトロール前の耕うん、除草等にご協力をお願いします。

遊休農地とは…

- ①現に耕作の目的に供されておらず、かつ、引き続き耕作の目的に供されないと見込まれる農地
- ②その農業上の利用の程度がその周辺の地域における農地の利用の程度に比し、著しく劣っていると認められる農地

川越市賃借料情報

平成30年1月から平成30年12月までの川越市内の農地の賃貸借と使用貸借の件数の割合は、賃貸借8.3%、使用貸借91.7%です。地区別の賃貸借料については下記の表のとおりです。なお、この情報はあくまで参考であり、賃借料を決める場合は水利費等も含め貸主、借主でお互いによく話し合ってください。

※賃貸借とは賃借料（物納を含む）が発生する農地の貸し借りのことです。使用貸借とは賃借料が発生しない無償の農地の貸し借りのことです。

◆賃借料情報の地区別内訳◆

[平成30年(1月から12月)の10aあたりの川越市内農地賃借料の平均・最高・最低額]

	田				畑			
	単位(件)	単位(円)			単位(件)	単位(円)		
	データ数	平均額	最高額	最低額	データ数	平均額	最高額	最低額
市全域	26	7,173	9,270	3,480	7	9,564	14,000	6,000
芳野	5	6,950	6,950	6,950	-	-	-	-
古谷	14	7,613	9,270	6,950	7	9,564	14,000	6,000
川越	7	6,454	6,950	3,480	-	-	-	-

[上記表の集計上の注意点]

- ・データ数が5件未満の地区は集計しておりません。データ数は、集計に用いた筆数です。
- ・南古谷地区、高階地区、福原地区、大東地区、霞ヶ関地区、名細地区、山田地区については、田・畑ともにデータ数が5件未満のため、集計しておりません。
- ・集計には、農地法と農業経営基盤強化促進法による賃借料を合算して集計しています。
(法人による賃借は除外しています。)
- ・平均額の増減70%を超える値は集計から除外しています。
- ・物納の場合は玄米60kgを13,900円に換算しています。

農家状況調査にご協力をお願いします

今年も農家状況調査票を農地所有者・耕作者にあててお送りします。

調査票には、前年度に回答いただいた所有農地の作付状況、農家世帯としての家族構成、農業従事日数、農業機械の所有状況等が記載されています。内容をご確認いただき、同封の記載例を参考にご記入の上、ご提出ください。あわせて、別世帯でも一緒に農業に従事している方がいる場合は、ご記入をお願いします。

なお、内容をご確認いただき修正等がなければ、押印のみでご提出ください。

【調査方法】 農業委員会事務局からご自宅に郵送します。

【発送時期】 9月を予定

【提出方法】 調査票に同封の返信用封筒にて、農業委員会事務局へ返送してください。

農業者年金に加入しませんか 今回は女性の視点でご案内

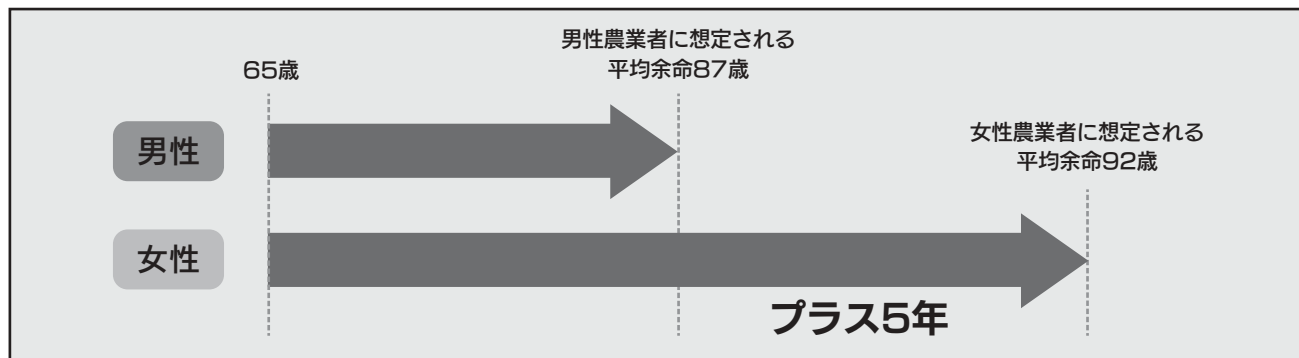
農地を所有してなくても、
国民年金に加入して年間60日以上
農業に携わっている
60歳未満の人なら加入できるのね



老後の生活資金が
自分の国民年金だけでは不安だから、
今から積み立てておくのはいいかもね

女性は男性より+5年長生き 自分自身の年金を準備しましょう

一般的に女性は男性より長寿です。年金が重要なことは男性も女性も同じですが、女性はより長い老後に備えて、自分自身の年金を準備することが重要です。



※農業者年金加入者について想定している平均余命

ご興味をお持ちの方には資料をお送りします。また、ご自宅等にお伺いしてのご案内もいたします。
くわしくは農業委員会事務局・お近くの農協各支店におたずねください。

収入保険が始まりました！

特長その1：保険期間中、幅広いリスクから農業経営を守ります。

自然災害や鳥獣害
などによる収量減少

けがや病気で
収穫ができない

倉庫が浸水して
売り物にならない

輸出したが為替変動で
大損した

災害によって作付不能

市場価格の低下

取引先が倒産した

盗難や運搬中の事故

特長その2：全ての農産物が対象となります。※肉用牛、肉用子牛、肉豚、鶏卵は除く

特長その3：補償割合が自由に選択できます。

掛捨ての保険方式(最大80%)と掛捨てとならない積立方式(最大10%)、支払率(最大90%)から、自由に選択できます。

基準収入1,000万円の場合、最高補償を選択いただいた方は、保険料等32.5万円(被害がなければ2年目以降は積立方式分は不要となり、9.8万円の支払い)で、800万円台の収入が確保されます！

収入保険加入フローチャート → はい → いいえ

スタート/
収入保険に
興味がある

青色申告をしている

共済などに加入し、
突然の災害に
備えましょう！

NOSAI埼玉へご連絡ください！

実際の加入手続きは保険期間3ヶ月前からとなりますが、**事前加入手続きや、保険のシミュレーションは随時行っております。**

将来の加入に向けて、青色申告を行いましょう！

2019年の収入分から青色申告を始めると、2021年の収入分から、収入保険に加入可能です。青色申告を始めるには、個人の場合、**3月15日までに「青色申告承認申請書」**を提出する必要があります。



本所：048-645-2141
Mail: honsyo@nosai-saitama.jp

収入保険制度の詳細は、最寄のNOSAI埼玉にお問合せください。

中部統括支所(川越)：049-235-8711
北部統括支所(熊谷)：048-533-8030
東部統括支所(行田)：048-559-1588

東松山支所：0493-22-0655
本庄支所：0495-21-0255
宮代支所：0480-32-1015

上尾支所：048-779-6911
秩父支所：0494-22-0647
越谷支所：048-965-7251

農業委員会事務局人事異動

平成31年4月1日付で、左記の職員が異動となりました。

【出向】

○市民部広聴課長

忍田 久夫(副事務局長)

○都市計画部開発指導課長

高梨 直人(管理担当主幹)

○上下水道局給水サービス課

副主幹

神立 寛司(調整担当副主幹)

○市民部地域づくり推進課主査

坂本 有司(農地担当主査)

【新任】

○石田 秀樹(副事務局長)

○山本 勇志(管理担当主幹)

○横山 大造(調整担当副主幹)

○榎本 亮太(農地担当主査)

平成31年度 全国情報会議

平成31年4月11日、東京都文京区「椿山荘」において、平成31年度全国情報会議が開催され、川越市農業委員会が「全国農業新聞情報活動表彰」における「全国農業新聞優秀農業委員会・団体等表彰」を受賞しました。また、「情報活動功労者表彰 農業委員・推進委員の部」において第23期農業委員が表彰されました。



川越市を代表して表彰を受けた委員団

「平成31年度川越市における農地利用最適化の推進に係る施策等に関する意見書」に対する回答

平成30年11月7日に川越市長へ提出した「平成31年度川越市における農地利用最適化の推進に係る施策等に関する意見書」に対し、平成31年1月31日付けで回答がありました。

回答につきましては、川越市農業委員会のホームページに掲載しております。

全国農業新聞を購読しませんか？

【発行日】毎週金曜日

【購読料】月 700円

【お申込み】農業委員会事務局まで

【TEL】

2024-6134

(直通)



川越市農業振興計画を策定しました

本年3月に、2019年度からの9年間を計画期間とし、本市農業振興施策の指針となる「川越市農業振興計画」を策定しました。

本計画では、本市農業が農業所得の増加により魅力ある産業になるような取組を進める「儲かる農業の推進」、本市の多数を占める小規模農業者の営農活動を支える「小さな農業」へのアプローチ、そして、農業を身近に感じられる本市の特徴を生かしたまちづくりを進

める「農のある生活の充実」の3つを計画の大きな柱としています。また、平成27年に制定された「都市農業振興基本法」において、策定が努力義務として定められた「都市農業の振興に関する計画」（地方計画）としても位置付けています。

計画では、農業に関する効果的な情報の受発信、鳥獣被害防止、スマート農業導入支援、雇用の確保に向けた支援、市内飲食店等と連携した農産物利用促進、生産緑地地区等での施策、グリーンツーリズム拠点整備などを、新たな取組としています。

計画に位置付けた取組を通じて、116億円（2017年）である本市の農業産出額を2027年度までに150億円にすることなどを目標にしています。

【問い合わせ先】

市役所本庁舎 5階

農政課 農業振興担当

TEL 2024-50939 (直通)

農政課からの お知らせ

Q. 現在はどうような花を栽培されていますか？

A. 花壇に植える花などを中心に、ケイトウ、ペチュニア、マリーゴールド等、季節によっていろいろな種類を栽培し、県内や都内の市場に

Q. 農業を始めて良かったと思うことはありますか？

A. 自分がした仕事に対して見返りを実感できるというのがあると思います。会社勤めをしていた時にはあまり感じなかったのですが、今

Q. 今後やりたいことなどを教えてください。

A. 多肉植物、観葉植物に興味があったり、花農家で販売している野菜・果物等にも興味を持った時期がありました。現在も通常に出荷している商品の合間を縫って、いろいろな品種の栽培・育種を試しています。

Q. 花の栽培を始めたきっかけはなんですか？

A. 元々家が農業を営んでいて、祖父の代は野菜農家でしたが、父が就農してから花の栽培にシフトしました。以前は一般の会社に勤めていましたが、大学で農業に関することを学んでいたこともあって農業に就くことにしました。



色鮮やかなケイトウ

Q. 花の栽培をするうえで苦労はありますか？

A. 自分が栽培した時点とお客様の手にわたった時点での花の形の差異は気にしています。用途によって要求される花の状態も変わってくるので、そこは気を使います。しかし、最近は事前にSNSやメール等で市場関係者等に写真を送り、状態を確認してもらってから出荷できるようなになる等、より細やかなニーズに対応できるようになりました。



雪のように真っ白な初雪草

かわごえ春の農業まつりが開催されました

平成31年4月28日(日) 農業ふれあいセンターにて「かわごえ春の農業まつり2019」が開催されました。体験型イベントや農産物の販売等、家族で楽しめる催しとして大変な賑わいを見せました。



農委スポット情報では「農業に関する情報」を募集しています。

地域のイベント・取り組み等がありましたら、農業委員会事務局までご連絡ください。